



「沖縄柱脚(露出型柱脚)を用いた鉄骨造(S造)建築物普及の沖縄県における可能性と実現に向けて」シンポジウム

2014年

10/7 火

13:30~17:00 ■定員:200名
開場 13:00

■場所:パシフィックホテル沖縄2F
万座の間

参加費
無料

沖縄県内の建築業界は、高まる需要に伴う人手や建築資材の不足、過酷な労働環境を嫌い若者の新規就労がなく高齢化が確実に進んでいます。これらの影響で未着工や工期遅れなどに加え、建設コストの高騰が顕著に表れており、経済的にも影響が出ています。そこで『沖縄柱脚(露出型柱脚)を用いた鉄骨造(S造)建築物の普及促進』に向けた取組みを図る事となりました。以上の背景を基に、今回のシンポジウムで鉄骨造(S造)の建築物の第一人者である田中淳夫先生をお招きして、講演やパネルディスカッションを通して、鉄骨造(S造)の魅力や優位性を紹介することにより、現状の建築物や建設業界の抱える問題・課題を解決するための情報を共有し、かつて無い大きな変革期を迎えた建設産業の活性化、今後住宅建築をご検討される県民の皆様へ、新たな選択肢としての鉄骨造(S造)建築物の魅力や優位性、メリットを提言したいと存じます。

【基調講演者プロフィール】

田中 淳夫

宇都宮大学 名誉教授
建築鉄骨構造技術支援協会 理事長
ベターリビング 鋼構造性能評価委員会 委員長
日本建築学会 司法支援運営委員会委員 支援部会長

1960年3月 東京大学工学部建築学科 卒業

1967年3月 東京大学大学院工学系研究科博士課程建築学専攻 修了, 工学博士号取得

2003年3月 宇都宮大学教授(工学部 建設学科建築学講座)定年退官 名誉教授となる
[専門分野]・鋼構造, 特に接合部の研究・既存建築物の耐震診断, 耐震補強の研究



【講演者プロフィール】

松尾 宏樹 沖縄柱脚プロジェクト委員会 委員長

株式会社 神戸製鋼所にて、建築工事の査定・交渉業務(バイヤー)として工場・事務所・病院・マンション・プラントの契約を10年間で約3000億円の契約実績がありそのほとんどがS造建築物である。

阪神・淡路大震災を激震地神戸市東灘区の住んでいた社宅が全壊した経験を持ち、その後、震災復興工事を担当し主要工場の復興を行った。取引先は「スーパーゼネコン」及び日本を代表するゼネコンと設計会社との契約から地場の中小零細の建設会社まで担当。沖縄柱脚開発(発案～開発)・・・神鋼商事株式会社と共同 大臣認定アンカーボルト(発案～開発)・・・株式会社神戸製鋼所と共同

パネリスト

※パネリスト調整中

田中 淳夫氏 宇都宮大学 名誉教授

斎藤 章氏 構造設計事務所 株式会社エス・ディ・フレックス 所長

▼プロフィール:構造設計一級建築士・構造計算適合性判定員

一般社団法人 日本建築構造技術者協会 茨城サテライト 代表

■主催: 沖縄柱脚プロジェクト実行委員会

■後援: 沖縄県 / 公益財団法人沖縄県産業振興公社

■協力: 株式会社 神戸製鋼所 / 神鋼商事株式会社 / 株式会社 沖縄建設新聞

【プログラム】

13:30 開会 ご挨拶 株式会社 神戸製鋼所 沖縄支店 支店長 高良圭氏

基調講演「鉄骨造建築物のすすめ」(90分)

講演: 宇都宮大学 名誉教授 田中淳夫氏

15:00 休憩 —

15:10 「沖縄柱脚の魅力語る」(40分)

沖縄柱脚プロジェクト委員会 委員長 松尾宏樹氏

— 休憩 転換 —

15:55 パネルディスカッション「S造の未来設計」(60分)

モデレーター/松尾宏樹氏

パネリスト/田中淳夫氏・斎藤章氏

※パネリスト調整中

17:00 閉会



■場所: パシフィックホテル沖縄2F 万座の間

住所: 〒900-0036 沖縄県那覇市西3-6-1

電話: 098-868-5162

※お申し込みは裏面をご覧ください。



お申込みは FAX にて賜ります。

FAX No. 098-869-6185

御 社 名	
役 職	
代表者お名前	
電 話	
メールアドレス	
参 加 人 数	名 ※代表者を含む

※10月6日までにお申込みください。

メールにてご連絡の方は **arakaki@g-out.co.jp** まで。

■お申し込み: **沖縄柱脚プロジェクト実行委員会**

沖縄県那覇市おもろまち 1-3-31 那覇新都心メディアビル西棟 9 階 株式会社神戸製鋼所 沖縄支店 内
電話 098-866-1870 担当 小嶺 / 新垣